



山形 2 日間大会



仕掛け人 武石雄市

期日 平成 15 年 6 月 14 日・15 日

会場 山形県県民の森（山形市・山辺町）

「沼の森」の地図の作成

トレインが大きな制約を受けずに縦横にコースが設置できて、駐車場、会場予定地も複数箇所に有り、ここで大会を開こう、と、山形に転居した昭和 56 年以來ずっと思っていた。

平成 11 年の東日本大会もここが第 1 候補地であったが、交通アクセスやその他の難点がクリアできずあきらめて前年に憤ましく東北選手権を開いた経緯がある。

再び大会開催に挑戦することになったのは、昨年 7 月、桐蔭学園のサマーキャンプと山形巡回大会で手持ちの O マップ「琵琶沼」が底を突いた事から始まる。

版下を持っているから増刷は簡単だが、ISOM2000 の以前の記号で現時の大会には大声で参加者を呼ぶことには堪えられない。

どうしても地図を作りたい。が、筆者一人の調査で

は無理だし限界がある。

町井稔氏（多摩 OL）に調査のことを話したら「やりましょう」と二つ返事。「琵琶沼」の時から苦労しているが、基礎図（5 m コンター）も行政境界でゆがんでコンターの数さえ食い違いがある。森も中の地形はまるっきり違う。町井氏が作図を引き受けてくれたことにより、調査のことは大船に乗った気分になった。

開催決定の経緯

筑波 - 東北 - 宮城学院の対抗戦が毎年持ち回りで開催されていることは知っていたが、その運営が大学院修士に進学した OB が主体であることは、米本路憲君（東北大 M1）から聞いて始めて知った。

- 民宿のちゃぶ台で

平成 15 年度の対抗戦は東北大側の運営だが、山形に良いトレインと地図はありませんかという相談があったのは昨秋、渡りに船だ。「あるよ」と一声。当初二人の意図するところは少々相違していた。

オリエンテーリング大会に関して、現役学連幹事長の立場から一般クラブの大会に学生の参加機会を作り、社会人との交流を図りながら学生クラブの運営錬度向上が米本君のねらい。

筆者もまたフットは勿論 SKI-O 等ヨーロッパ各地の大会参加体験を日本で実践

写真

作図の町井、米本 -

の機会を狙っている。特に参加者も協力する少数運営、幼児や低学年のオリエンテーリング、そして以前から話題にされては改善されない高年齢ベテランクラスのコースセット etc・・・

二人は折に触れてオリエンテーリングの現状を語り合い、地方大会の質と参加者のアップを目指すことになった。

主催は県協会として計画し傘下の会員に意見を求めても全然反応がない。米元君もまた東北大同期の対抗戦運営予定者に山形大会便乗を説明するが、地図の精度を心配する者や仙台から事前準備の制約・種類のデメリットを心配する意見が出たことを知らせてくる。

二人は、兎に角、開催に向けて走り出す事に意思決定した。

地図調査

11 月には調査開始する予定が、例年より降雪が早くテレインは雪で埋まってしまった。

運の悪いことに作図者の町井氏が腰を痛め通院で動きがとれないことになった。米本君の空日程は知らせて来たが、筆者も SKI-O の大

写真

- みんなもらって
会や合宿やらの準備で雪解けを待つより仕方ないことになった。

4 月初め、桜前線の北上に伴って雪が溶けようとしている時、町井氏から調査の件でメールが入った。

募集要項の配布は既に始まっているが調査に手が着いていない。大会まで 1 カ月半、超限定調査が開始された。その間、西畑君のコース案を 2 回も試走をこなし、1 週間前には地図も印刷、シールされた。

二日間大会

対抗戦準備業務は米本君に任せたが山形県協会の業務は筆者一人、プログラム作成・発送、輸送計画、宿舍斡旋、資材運搬、出納簿記入 etc・・・老体？に鞭打って頑張ったが、よくぞ体も堪えてくれたものと我ながら感心している。

うれしいさくらんぼ -

当日は、役員も東北大学院 1 年学生と極一部の協会会員、そして、例によって我が一族がそれぞれの部署について参加者の到着を待つことになった。

参加者と役員の感想

筆者の意図するところは適えられた。

以下に寄せられた感想の原文を載せますので大会の模様を推察してください。

石田美代子 W65A 愛知 OLC

要項を見て、直ぐに参加を決めました。

写真

- 辻村紀子と石田美代子 -

理由は M65A, W65A のクラスがあり、それに賞品が「さくらんぼ」。1 日目のショート、参加者が少ないクラスも統合されずクラス分けは申込どおり、W65A は私一人、完走すれば「さくらんぼ」が待っている。コースは M50A, M65A, W21A と同じ、私は M50A や W21A のトップがゴールしてからスタートした。

最初は簡単かと思ったがいろいろと変化があって面白かった。見通しは良くても足下は下草で地面が見えない。急斜面は転ばないようにソロソロと降りた。きれいな羊歯の葉がすごく大きくて驚いた。キャンプ場やフィールドアスレチックの横も走った。スタート時刻が遅かったので他のランナーを見かけずのんびり走っていたので時間がかかった。

2 日目のクラシック。パステルカラーのきれいな地図はやや線が細く見にくかった。W65A でも W21A、W35A と同じコースだったので走りがいがあった。二日ともさくらんぼの賞品を頂きうれしかった。

石田亘宏 M65A 愛知 OLC

2 日間、新緑の東北で OL を楽しみました。山形市の平野からヘヤピンカーブを何度も周り県民の森に出ると沼に囲まれた小高い丘が連なる高原が現れました。

この大会は高齢者の参加者にも配慮され、男女とも 65A のクラスがあり、そのコースも十分に OL を堪能させるセットがされてありました。

14 日のショートは、どのレッグも気を抜くことができないコースで、短い区間でもルートの選択が重要でした。15 日のクラシックは走る区間もあり、細かい地形の読み取りが連続するレッグありと面白いコースでした。

出来ればもう一度走って見たいトレインでした。

少ないスタッフの方々に準備・運用され、OL を楽しませて頂いた主催者に感謝しています。

賞品のさくらんぼは赤く輝き、その美味しさは素敵でした。来年も是非開催されるように、また高齢者にも配慮した大会を期待します。

高橋元気 東北大 OLC

今回は筑波-東北-MG 対

抗戦ということで、OB の方も大会を手伝っていたので、地図の精度もかなり大会になると聞き、とても楽しみにしていました。僕は何気なしに山形の大会参加率が高く、去年の「なでら山」や「琵琶沼」にも 2 回入っていました。だから、今回の大会は密かにちょっと狙っていました。

1 日目のショートは、短い距離だからと言ってラフにやりすぎず、ちゃんと手続きをやるように心掛けました。そのおかげ(?)で、順調にまわることが出来ました。

2 日目のレースは 6860m もあり、1 日目の地図の範囲を含んださらに広い範囲になっていて、まるでインカレのような感じでした。コースの方も息のつけぬ大変手応えのあるレッグの連続でとても楽しめました。でも、結果はペナでした。4 ポに行ったあと、6 ポを目指していました。5 ポのある位置がテラスだったので、6 ポの円の中にもテラスがあったので勘違いしてしまったのです。と、ちょっと今のは言い訳でした。

運営してくださった皆様に感謝します。宮城から近

いのでこれからも山形の大会には積極的に参加していきたいと思います。

羽鳥亜希子 日帰り同伴者

日曜日は天気も良く、会場はきれいな小川の流れる素敵なおとろけ所でした。ちびっ子ストリーム OL は子供達に大うけでした。地面にロープが張られていたので小さな子供にも分かってとても良かったです。道以外の場所にもロープが張られていて、ちょっとオリエンテーリングな感じがあり、良いコースでした。

2歳とちょっとのもなもルールが分かり、ご褒美のさくらんぼに釣られてか2回も楽しませていただきました。さなは3回も廻っていました。受付に行くたびに快く受付をしていただき、ありがとうございました。

主人も当日参加ながら表彰対象にさせていただき、おいしい、おいしいさくらんぼをゲットすることが出来ました。思いがけず吉田家に会い、もも&なな&こうちゃんと楽しく遊び、大満足の大会でした。素敵な大会に参加させていただき、本当にありがとうございました。

追伸 帰りに米沢でおいしい米沢牛のステーキを堪能できたのも幸せでした。

山口卓也 岩手大OLC

今回の山形2日間大会は、私がこれまで参加した大会の中でも、特に好印象を受けた大会でした。

2日間に及ぶ開催、賞品のさくらんぼ、対抗戦の併設、会場の実況など、様々な趣向・工夫を凝らしており、盛り上がりを見せていたと思います。何より、会場の雰囲気が抜群でした。オリエンテーリングの大会を開催するには絶好のロケーションだと思います。

レースの方は、1日目のショートで4位とあと一歩でさくらんぼを逃し、非常に悔しい思いをしましたが、2日間を通して競技をとて楽しむことが出来ました。また、運営者の熱意を感じた大会でもありました。特に武石さんの「地方でもこんな大会を開くことが出来るんだ」という言葉には、非常に頼もしさを感じました。私も、今秋に開催される岩手大学大会の準備を進めている身として、今回の大会は運営の面でも参考になりましたし、何よりも運営者

の力強さに勇気付けられました。東北地方は遠方の地ということもあり、なかなか参加者が多く見込めないのが現状ではありますが、これからもこのような大会を開催していけば、このような現状は打破できると思います。米本氏のような(オリエン馬鹿(情熱のある人))が必要であることは、言うまでもありません。

吉田しのぶ 方向音痴会

家族でとても楽しめました。スタート時刻を配慮していただき、ストリームOLでななちゃんはいちばん大泣きしたりしてご迷惑をお掛けしました。賞品のさくらんぼもおじいちゃんおばあちゃんのお土産の箸が帰りの車の中でなくなってしまいました。

櫻庭健一 M65A 横浜市

お陰さまで楽しい週末を過ごすことが出来ました。

一緒に連れて行ってグループに参加した姪(高2)と甥(小2)も大満足でした。もしかしたら将来の競技人口を一人か二人増やすことが出来たかもしれません。また機会があったらよろしくお願いします。

浦瀬香子 W21AS 杏友会

大変すばらしい大会に出場することが出来、親子共々とても楽しかったです。3パックもさくらんぼを頂きましたし・・・何と言っても、広くてきれいなバス輸送がらくちんで良かったです。スタート時刻も配慮いただき、親二人は一年ぶりで AS にもかかわらず 100 分レースになってしまいへろへろでした。母親は地図を間違えて 15 分もロスするし、恥ずかしい限りです。父親は迷っていないがアップがきつくて長かったとこぼし、M12 の子供は足は遅いが着実にポストを廻ってきたらしく、主和根 1 位に喜んでいます。チビ(2歳)はごほうびのさくらんぼを食べることが出来てうれしかったようです。

来年もまた是非開催してください。

町井稔 作図者 多摩 OLC

参加された方々、運営に協力いただいた方々お疲れ様でした。今大会は武石さんを中心とした武石ファミリーで開催されました。

私は、軽い気持ちで地図作図を引き受けたのですが、去年は雪が多かったことや

私の体調が良くなかったこともあり、直前になって忙しい思いをすることになりましたが、思い出に残る大会になりました。ありがとうございました。

地図調査は、GW 前半と 5 月の土日+αの 1.5 ヶ月で、武石さん、米本君と私の 3 人で行いました。

このテレインは、走られた方はご存知と思いますが、いろいろな地形が現れます。地図のタイトルになった大小の沼、湿地、急峻な斜面、何もない大きな地形、尾根上にある複雑な地形などです。

私が担当したのは、北側の部分ですが、原図が古く、且つゆがんでいました。複雑な地形では私の調査技量では表現しきれず時間がどんどん過ぎて行きました。また、点状特徴物(沢山ある炭焼き釜と思われる穴)の位置確定は大変でした。

一時は範囲を狭くしないと調査が終らないのではなにかと思いましたが、欲張って予定以上にも範囲を広げ、未調査地域には心残りはあるものの何とか大会を開催できるまでにしあげることができたようです。

作図では原図で切れてい

る(!)等高線の辻褄の合わせることが大変でした。特に沼周りで凹地を形成している等高線は複雑です。

テレインの素質としては、ロングディスタンスやリレーなど、どんなイベントにも堪えられると思います。

実はこのテレインの最初の O-MAP(1:15000)は、約 20 年前の 1980 年に作成されました。この地図を 1:10,000 にしたものが学習展示館にパーマネントコースとして掲示されていたのでご覧になった方もいると思います。等高線間隔 10m、通行可能性も無い地図ですが、これを描いたのは私だったりします・・・。

初めて武石さんにお会いしたのもこのころだったと思います(札幌の大会で強引に地図を交換したのは私でした)。

米本路憲 運営者 仙台 OLC

山形二日間大会及び筑東北 MG 対抗戦に多数のご参加誠にありがとうございました。

今回、山形 2 日間大会と筑波・東北・MG 戦を併設する形で開催しました。当初は運営者、現役学生双方に少なからず戸惑いも見ら

れましたが、無事、成功裏に終らせることができ、大変好評でした。兎に角無事に終ってほっとしている、というのが自分の偽らざる心境です。関係者にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

様々なイベントが各地で提供されることはオリエンテーリング競技の最も重要な基盤です。今回のようなケースが増えていけば、参加者(とりわけ学生参加者)の減少に悩む各種イベントもだいぶ救われると思います。学生側にとっても通常では受けにくいサービス(新しい地図、実況中継、本格的な表彰式、賞品など)が受けられるのであまり悪い話ではないと思います(参加費が高くなるのは問題かも知れませんが)。

最終的な回答を出したとは思っていませんが「大学対抗戦と一般大会は併設が可能である」という一応の成果を出すことができたと思います。

自分の調査範囲は主にショートで使われました。急ピッチで作ったこともあり、自分の力不足を露呈する結果となってしまいました。申し訳ありません。次に自

分が調査する地図が世に出るのは公認東北大会の前日イベントの時です。今回の反省を活かし、少しはまともな地図を作りますので、どうか皆様参加してください。

最後に皆様をお願いします。できれば対抗戦の表彰式も見て、表彰対象者を祝福していただけるとありがたいです。より多くの人に表彰されることは学生にとっても大きな喜びであると思いますので。

広報PR

この大会は、SSF スポーツエイド事業として認定され笹川スポーツ財団から助成を受けて開催できた。だからこそ皆様に喜んでいただけた大会になった。

しかも、光栄なことに 2 日目の 15 日には笹川財団から視察員の来場があり、山形駅からのバス利用状況、

そして大会の受付からスタート・ゴール一部クラスのコースを廻り最後まで熱心に視察していただいた。運営者は当然承知していたが、参加者も自然な振る舞いでオリエンテーリングの楽しさを随所で表現し、そして競技に重点を置いた選手達もまたフェアに競技していただいたので、好印象をもって視察していただけたものと確信しております。笹川スポーツ財団がオリエンテーリング大会の視察を行ったことは、スポーツ・フォア・オールを全国展開している立場を考慮して、今後、各クラブ等の助成金申請にもきっとその反映があるものと期待しています。

最後に、1 軒しかない民宿の協力や県民の森学習資料館館長の深いご理解に感謝して、JOA に休会届を提出したことを忘れ、当分、心地よい疲れを楽しみます。

写真

- アットホームな会場風景